

貸 借 対 照 表

2021年 3月 31日 現在

JALデジタルエクスペリエンス株式会社

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
普通預金	23,785,833	営業未払金	12,652,491
営業未収入金	29,963,815	未払金	255,352
貯蔵品	1,600,101	未払費用	52,452,695
前払費用	512,068	未払法人税等	2,659,100
短期貸付金	261,755,514	未払事業所税	326,500
未収入金	30,971,480	流動負債合計	68,346,138
未収法人税等	955,900	負債合計	68,346,138
流動資産合計	349,544,711		
【固定資産】		純資産の部	
(有形固定資産)		科 目	金 額
工具器具備品	517,400	【株主資本】	
減価償却累計 (工具器具備品)	△237,138	資本金	475,000,000
有形固定資産合計	280,262	【資本剰余金】	
(投資その他の資産)		資本準備金	475,000,000
長期前払費用	8,677,976	資本剰余金合計	475,000,000
敷金差入保証金	600,000	【利益剰余金】	
投資その他の資産合計	9,277,976	(その他利益剰余金)	(△659,243,189)
固定資産合計	9,558,238	繰越利益剰余金	△659,243,189
		利益剰余金合計	△659,243,189
		株主資本合計	290,756,811
		純資産合計	290,756,811
資産合計	359,102,949	負債純資産合計	359,102,949

注 記 表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
市場性のある有価証券 時価評価とする
市場性のない有価証券 移動平均法に基づく原価法
- (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産会計については、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会企業会計基準第9号)に従う。

固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産の減価償却方法
法人税法に定める定額法とする。
- (2) 無形固定資産の減価償却方法
自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法とする。

引当金の計上基準

- (1) 退職給付引当金
退職給付会計については、「退職給付に係る会計基準」(企業会計審議会)に従い、簡便法を採用する。
- (2) 貸倒引当金
一般債権は貸倒実績率法、貸倒懸念債権等は回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上する。

収益及び費用の計上基準

当社は顧客管理システムの企画、提携社へのシステムサービスの提供、JALグループ会社のマーケティングデータ分析等を行い、収益費用の計上基準は発生主義により認識し、計上を行う。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理
税抜方式によっている。

株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

普通株式

前期末株式数 19,000 株

当期増加株式数

当期減少株式数

当期末株式数 19,000 株

優先株式

前期末株式数

当期増加株式数

当期減少株式数

当期末株式数

合計

前期末株式数 19,000 株

当期増加株式数

当期減少株式数

当期末株式数 19,000 株